

せいけん  
詩集

第六十二篇

作：近藤せいけん

「勝ち負け」

「また負けてしまったよ」

「そう 負けも勝ちも 紙一重 チョットした差だよ」

「でも 私にとっては 大きな差だよ」

「勝ち負けにこだわらず 楽しんだほうがいいんだ」

「負け続けていると 勝つてみたいんだ」

「勝ちも負けも 時の運 サイコロの目 転がしてみないと

わからないんだ」

「というなら 勝ちの目をだしてよ」

「そう じゃ もう一度やってみたらん もしかしたら いい目がでるかも」

「それじゃ もう一度 やってみるか」

「そうだよ チャレンジ チャレンジ」

「人生は谷あり 山あり 悪いことだけではないよ」

「ううん そうだね そう信じて やってみようか」